



**ダイジェット工業株式会社**

# 第 90 期 報 告 書

平成27年4月1日 ▶ 平成28年3月31日



## ● 株主の皆様へ



代表取締役社長 生悦住 歩

株主の皆様には、平素は格別のご支援を賜わりまして、ありがとうございます。たく厚くお礼申しあげます。

さて、ここに、当社第90期（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）の事業の概況をとりまとめましたので、ご報告申しあげます。

平成28年6月

### 事業の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新興国経済の減速や年度終盤の円高の急激な進行等により企業業績の下振れが懸念される中、年度中の円安基調や原油安効果等もあり、企業業績は輸出関連企業を中心に収益が拡大し、設備投資も増加したことから、緩やかな回復基調で推移いたしました。

こうした中において当社グループにおきましては、切削工具では、高硬度材加工用工具向けに開発した新材種「DH102」を得意分野の金型加工用工具を中心に商品化し、主力商品である高精度刃先交換式エンドミル「ミラーボール」「ミラーラジラス」用チップではシリーズを拡張し、さらにソリッドボールエンドミルでは硬さ70HRCの高硬度材が加工可能な新製品「ワンカットボール70」を発売したほか、穴あけ用工具では発売後好評の「タイラードリル」を顧客ニーズに応じて寸法拡張するなど、販売拡大につとめました。また、耐摩耗工具では複合新材料「サーメタル」の市場展開・用途開発も継続して積極的に行い、売上の増大を図るとともに、技術サービスの充実や新製品の開発にも積極的に取り組みました。

これにより、連結売上高は、前年同期比2.3%減の9,889百万円となりました。このうち国内販売は、焼肌チップの販売伸び悩みが影響し、前年同期比3.2%減の5,550百万円となり、輸出は同1.1%減の4,338百万円となりました。輸出の地域別では、北米向けが前年同期比1.1%減の981百万円、欧州向けが同2.7%増

の1,090百万円、アジア向けが同3.1%減の2,164百万円、その他地域向けが同1.8%増の102百万円となり、この結果、連結売上高に占める輸出の割合は、前年同期に比べ0.6ポイント増加し43.9%となりました。

製品別では、焼肌チップが前年同期比13.1%減の1,286百万円、切削工具が同1.5%減の7,054百万円、耐摩耗工具が同5.4%増の1,524百万円となりました。

収益面では、積極的な設備投資による増産効果が現れ、連結営業利益は前年同期比11.6%増の573百万円となり、経常利益は同4.1%増の572百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は同113.7%増の521百万円となりました。

なお、当期の期末配当につきましては、当初の予定より1株につき1円増額して4円とさせていただきます。

### 今後の見通し

わが国産業界におきましては、中国をはじめとするアジア新興国経済の減速、円高の急激な進行等により、景気の先行きは不透明な状況と考えられます。

当社グループといたしましては、国内外において注力商品の販売拡大を図るため、営業・技術・製造が一体となった受注活動を推進するとともに、海外事業のいっそうの拡大のため、海外営業拠点の整備・確立を進め、国・地域など市場ニーズに沿った商品展開や物流体制を含めたネットワークの拡充により競争力を高め、中国の金型合併事業の推進など耐摩耗工具についても引き続き海外展開の強化を図ってまいります。

また、資源相場や為替など原材料価格の変動リスクに加え、電気料金の高止まり等による原価の上昇に対し、徹底した原価低減を行い、工場再編によるライン化・自動化を進め、製造工程の合理化によるリードタイムの短縮や技術改善にも取り組み、生産性および収益性の向上につとめてまいります。

さらに、新製品開発におきましては、「高速・高能率・高精度」をキーワードとして、世界市場を見据えた工具の開発から市場投入までのスピードアップを図るとともに、「脱タングステン」を実現した複合新材料「サーメタル」のように「脱・省タングステン」をテーマとした新製品の商品化・量産化を推進し、新材種や新技術を用いた高付加価値製品の開発にも注力してまいりたいと存じております。

こうした状況から、当社グループの第91期連結業績予想は、売上高は前連結会計年度比1.1%増の10,000百万円、営業利益は同4.7%増の600百万円、経常利益は同4.8%増の600百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は23.4%減の400百万円を見込んでおります。

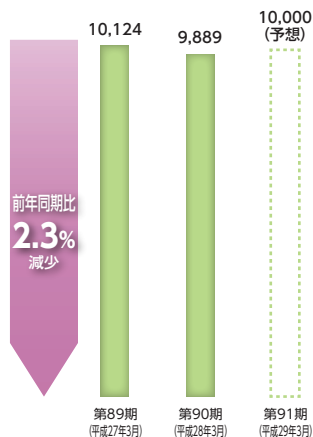
一方、企業の社会的責任を自覚し、コーポレート・ガバナンスの更なる充実を図り、コンプライアンス体制の整備および運用につとめるとともに、環境保全活動にも積極的に取り組み、引き続き社会貢献にもつとめてまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## ● 連結決算ハイライト

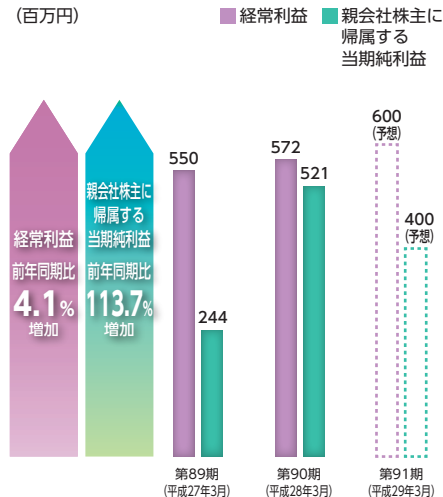
### ▶ 売上高

(百万円)



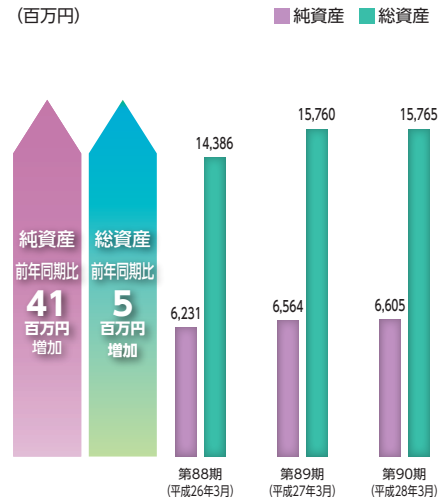
### ▶ 経常利益／親会社株主に帰属する当期純利益

(百万円)



### ▶ 純資産／総資産

(百万円)

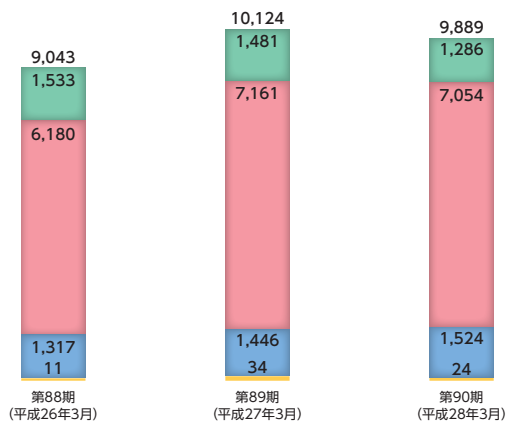


## ■ 売上高の推移

### ▶ (1) 製品別売上高

(百万円)

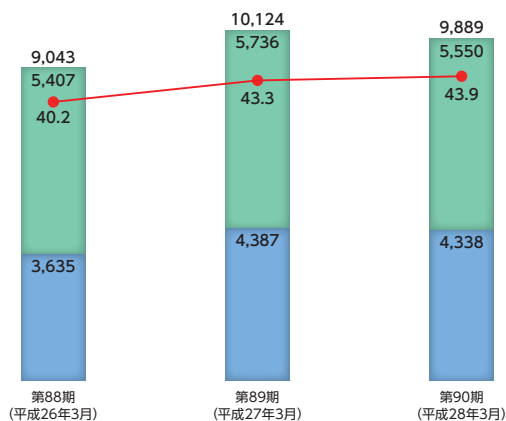
■ 焼肌チップ ■ 切削工具 ■ 耐摩耗工具 ■ その他



### ▶ (2) 海外売上高

(百万円)

■ 国内 ■ 海外 ● 海外比率 (%)



# ● 連結財務諸表（要旨）

## ■ 連結貸借対照表

（単位：千円）

|                | 前連結会計年度<br>平成27年3月31日 | 当連結会計年度<br>平成28年3月31日 |
|----------------|-----------------------|-----------------------|
| <b>① 資産の部</b>  |                       |                       |
| 流動資産           | 8,538,146             | 8,509,722             |
| 固定資産           | 7,222,537             | 7,256,231             |
| 有形固定資産         | 4,843,850             | 5,334,615             |
| 無形固定資産         | 63,477                | 67,148                |
| 投資その他の資産       | 2,315,210             | 1,854,466             |
| 資産合計           | 15,760,683            | 15,765,953            |
| <b>② 負債の部</b>  |                       |                       |
| 流動負債           | 4,377,910             | 4,355,934             |
| 固定負債           | 4,818,118             | 4,804,182             |
| 負債合計           | 9,196,029             | 9,160,116             |
| <b>③ 純資産の部</b> |                       |                       |
| 株主資本           | 5,841,610             | 6,273,989             |
| 資本金            | 3,099,194             | 3,099,194             |
| 資本剰余金          | 1,703,396             | 1,703,396             |
| 利益剰余金          | 1,082,619             | 1,515,405             |
| 自己株式           | △43,600               | △44,006               |
| その他の包括利益累計額    | 723,044               | 331,847               |
| 純資産合計          | 6,564,654             | 6,605,837             |
| 負債純資産合計        | 15,760,683            | 15,765,953            |

## ■ 連結損益計算書

（単位：千円）

|                          | 前連結会計年度<br>自 平成26年4月 1日<br>至 平成27年3月31日 | 当連結会計年度<br>自 平成27年4月 1日<br>至 平成28年3月31日 |
|--------------------------|-----------------------------------------|-----------------------------------------|
| <b>④ 売上高</b>             | 10,124,607                              | 9,889,495                               |
| 売上原価                     | 7,058,690                               | 6,699,056                               |
| 売上総利益                    | 3,065,917                               | 3,190,438                               |
| 販売費及び一般管理費               | 2,552,319                               | 2,617,123                               |
| <b>⑤ 営業利益</b>            | 513,597                                 | 573,315                                 |
| 営業外収益                    | 132,882                                 | 86,573                                  |
| 営業外費用                    | 96,434                                  | 87,486                                  |
| <b>⑤ 経常利益</b>            | 550,045                                 | 572,401                                 |
| 特別利益                     | 980                                     | 197                                     |
| 特別損失                     | 167,514                                 | 266                                     |
| 税金等調整前当期純利益              | 383,511                                 | 572,332                                 |
| 法人税、住民税及び事業税             | 82,553                                  | 115,114                                 |
| 法人税等調整額                  | 56,656                                  | △64,777                                 |
| 当期純利益                    | 244,302                                 | 521,995                                 |
| <b>⑥ 親会社株主に帰属する当期純利益</b> | 244,302                                 | 521,995                                 |

## ■ 連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

|                     | 前連結会計年度<br>自 平成26年4月 1日<br>至 平成27年3月31日 | 当連結会計年度<br>自 平成27年4月 1日<br>至 平成28年3月31日 |
|---------------------|-----------------------------------------|-----------------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー    | 956,417                                 | 868,866                                 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー    | △1,050,784                              | △1,428,511                              |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー    | 263,139                                 | 423,852                                 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額    | 5,506                                   | △1,452                                  |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | 174,279                                 | △137,244                                |
| 現金及び現金同等物の期首残高      | 1,112,967                               | 1,287,247                               |
| 現金及び現金同等物の当期末残高     | 1,287,247                               | 1,150,002                               |

## 【連結財務諸表（要旨）】ポイント

### ■ 連結貸借対照表

#### POINT① 資産の部⇒5百万円増加

【流動資産 28百万円減少】

たな卸資産368百万円増加。現金及び預金137百万円、受取手形及び売掛金152百万円各減少。

【固定資産 33百万円増加】

減価償却費の計上により820百万円減少。設備投資の実施1,315百万円増加。投資有価証券の評価額443百万円減少。

#### POINT② 負債の部⇒35百万円減少

【流動負債 21百万円減少】

短期借入金260百万円増加。支払手形及び買掛金286百万円減少。

【固定負債 13百万円減少】

長期借入金262百万円増加。長期繰延税金負債235百万円減少。

#### POINT③ 純資産の部⇒41百万円増加

【株主資本 432百万円増加】

配当の実施89百万円減少。当期純利益521百万円増加。

【その他の包括利益累計額 391百万円減少】

株式の時価評価等による減少。

### ■ 連結損益計算書

#### POINT④ 売上高⇒前年同期比2.3%減少

国内は焼肌チップの販売が伸び悩み、また海外は欧州市場が拡大したものの新興国経済の減速等により、売上高はともに減少。

#### POINT⑤ 営業利益⇒前年同期比11.6%増加、 経常利益⇒4.1%増加

売上高は減少したものの、積極的な設備投資による増産効果により収益性が改善。

#### POINT⑥ 親会社株主に帰属する当期純利益 ⇒前年同期比113.7%増加

前年同期の特別損失要因が無くなったことに加え、今後の業績動向等を勘案し、繰延税金資産を追加計上したことにより税金費用が大幅減少。

## ● 個別財務諸表（要旨）

### ■ 貸借対照表

（単位：千円）

|              | 前 期<br>平成27年3月31日 | 当 期<br>平成28年3月31日 |
|--------------|-------------------|-------------------|
| <b>資産の部</b>  |                   |                   |
| 流動資産         | 8,035,462         | 8,052,281         |
| 固定資産         | 7,313,946         | 7,373,821         |
| 有形固定資産       | 4,843,564         | 5,334,615         |
| 無形固定資産       | 63,477            | 67,148            |
| 投資その他の資産     | 2,406,905         | 1,972,057         |
| 資産合計         | 15,349,408        | 15,426,102        |
| <b>負債の部</b>  |                   |                   |
| 流動負債         | 4,348,617         | 4,333,520         |
| 固定負債         | 4,709,137         | 4,656,997         |
| 負債合計         | 9,057,755         | 8,990,517         |
| <b>純資産の部</b> |                   |                   |
| 株主資本         | 5,602,032         | 6,052,410         |
| 資本金          | 3,099,194         | 3,099,194         |
| 資本剰余金        | 1,703,396         | 1,703,396         |
| 利益剰余金        | 843,042           | 1,293,826         |
| 自己株式         | △43,600           | △44,006           |
| 評価・換算差額等     | 689,620           | 383,175           |
| その他有価証券評価差額金 | 689,620           | 383,175           |
| 純資産合計        | 6,291,653         | 6,435,585         |
| 負債及び純資産合計    | 15,349,408        | 15,426,102        |

### ■ 損益計算書

（単位：千円）

|              | 前 期<br>自 平成26年4月 1日<br>至 平成27年3月31日 | 当 期<br>自 平成27年4月 1日<br>至 平成28年3月31日 |
|--------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 売上高          | 9,799,982                           | 9,558,375                           |
| 売上原価         | 7,046,803                           | 6,700,685                           |
| 売上総利益        | 2,753,178                           | 2,857,690                           |
| 販売費及び一般管理費   | 2,315,746                           | 2,332,866                           |
| 営業利益         | 437,431                             | 524,824                             |
| 営業外収益        | 156,392                             | 118,525                             |
| 営業外費用        | 89,863                              | 74,627                              |
| 経常利益         | 503,960                             | 568,722                             |
| 特別利益         | 980                                 | 197                                 |
| 特別損失         | 167,514                             | 266                                 |
| 税引前当期純利益     | 337,426                             | 568,653                             |
| 法人税、住民税及び事業税 | 45,000                              | 94,000                              |
| 法人税等調整額      | 57,995                              | △65,340                             |
| 当期純利益        | 234,430                             | 539,994                             |

## ● トピックス

### 見本市

当事業年度におきましても、国内外の工作機械・機械工具関係の見本市に積極的に出展いたしました。

国内では、金型加工技術展「インターモールド2015」の他、中部地区最大の工作機械見本市「メカトロテックジャパン2015」においては、過去最大規模となる来場者9万4千人以上と大盛況のなか、金型加工用工具、高硬度材加工用工具の新製品を展示いたしました。

また海外では、世界4大工作機械見本市の「CIMT2015」（中国）および「EMO2015」（イタリア）等の金型・工作機械関連見本市に出展し、成長著しい中国、金型加工の盛んな欧米市場に向け、積極的に当社製品のPR活動を展開いたしました。



インターモールド 2015



メカトロテックジャパン 2015



CIMT 2015



EMO 2015

### 日本機械工具工業会賞

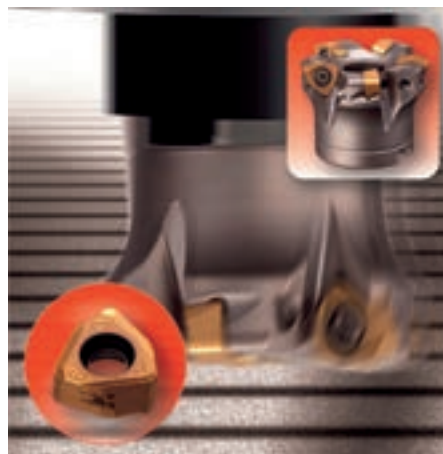
新規性・独創性に優れた製品に授与される「日本機械工具工業会<sup>(注)</sup>技術功績賞」に、平成27年度は『SKSエクストリーム』が選ばれました。今後とも新規性・独創性だけでなく省資源化にも配慮した製品を開発いたします。

#### ■ 『SKSエクストリーム』

従来の高送り工具を進化させた次世代高送りカッタ。チップ形状の最適化により、軸方向切込み最大3mmで1刃当たり送り2mmの高切込み高送り加工ができ、金型荒加工における大幅な能率アップを実現。

また、チップ材種は「JC7560」に加え「JC8118」を追加し、一般鋼から鋳鉄、高硬度材・ステンレス鋼と幅広い被削材に対応。

(注) 平成27年6月に超硬工具協会と日本工具工業会が統合され、日本機械工具工業会が設立されました。



SKSエクストリーム



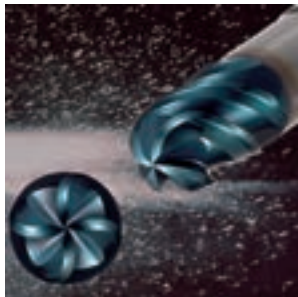
## 新製品

当事業年度におきましては、注力しております高硬度材加工用工具向けに開発した新材種「DH102」を主力の金型加工用工具を中心に商品化いたしました。主な新製品は次の通りです。

### ■『ワンカットボール70』

1本で高硬度材の荒から仕上げに対応、硬さ70HRCの高硬度材も加工可能な4枚刃ソリッドボールエンドミル。高硬度材向け新材種「DH102」を採用し長寿命化を実現。

高い工具剛性と不等分割の採用で加工時のびびりを低減。また、刃先中心部の独自刃形状により良好な切りくず排出性を実現し安定加工が可能。



ワンカットボール70

### ■『アルミ用Sヘッド』

オール超硬シャンクアーバ「頑固一徹」にセットして使用するアルミニウム合金加工用ソリッドモジュラーヘッド。超硬シャンクとの組合せによりソリッドに匹敵する性能を発揮、ヘッド交換式のため太径ソリッドエンドミルに比べコスト削減が可能。

アルミ用ソリッドエンドミルの刃先諸元をモジュラーヘッドにも採用し、切れ味に優れ高精度加工が可能。また、3枚刃・各刃クワラント穴付きにより、切りくず排出性も向上。



アルミ用Sヘッド

## 環境・社会活動

当社は、地球環境の保全、汚染の予防を認識し、循環型社会の視点（3R:Reduce、Reuse、Recycle）に立った事業活動を展開し、環境保全に取り組んでおります。

当事業年度におきましては、ISO14001の取組みとして、「消費エネルギーの削減」、「化学物質リスクの低減」、「環境にやさしいものづくり」、「日常業務を通しての環境改善」、「廃棄物の管理及び削減」、「資源の有効利用」などをテーマとした中期3ヵ年計画（2013年度～2015年度）の最終年度であり、各部門・事業所ごとに目標達成に向けて年度目標を設定して取り組みました。

新製品開発においても、日本機械工具工業会が選定する「環境調和製品認定制度」に積極的に取り組み、本年度は製品5点の認定を受けております。

また、社員による地域美化運動にも取り組み、地域社会とのコミュニケーションを積極的に図っております。

当社では、今後も引き続き、より一層環境保全への継続的改善に積極的に取り組み、社会貢献に努めてまいります。



## ● トピックス

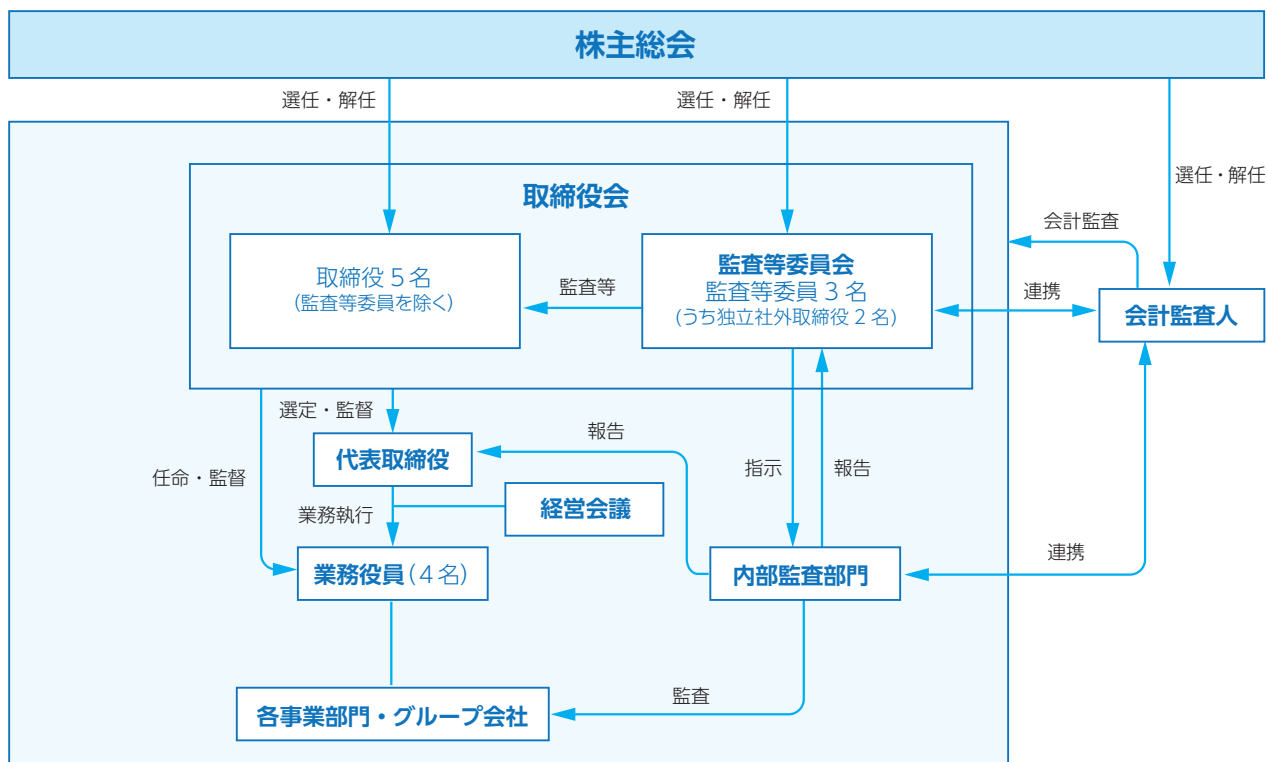
### コーポレート・ガバナンス体制の強化

当社は、平成27年6月26日付で監査役会設置会社から監査等委員会設置会社に移行いたしました。

当社は、この新しいコーポレート・ガバナンス体制のもと、取締役会の監査・監督機能の一層の強化と

コーポレート・ガバナンスの更なる充実を図るとともに、権限委譲による迅速な意思決定と業務執行により、経営の公正性、透明性および効率性を高めることを目指しております。

### ■ 内部統制概要図（平成28年6月28日現在）





## ● 株式情報 (平成28年3月31日現在)

### ■ 株式の状況

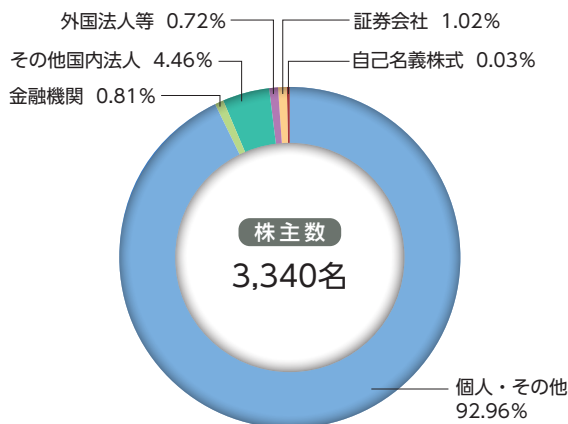
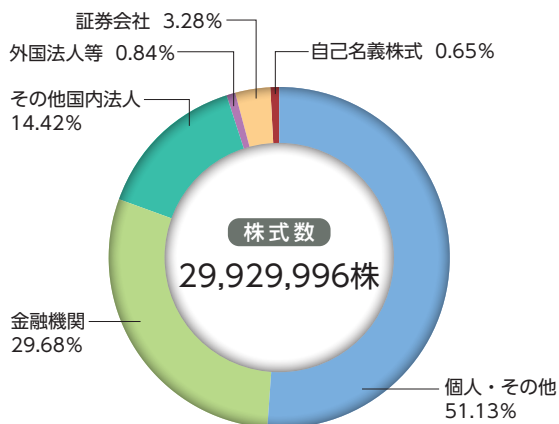
|          |              |
|----------|--------------|
| 発行可能株式総数 | 80,000,000 株 |
| 発行済株式の総数 | 29,929,996 株 |
| 株主数      | 3,340 名      |

### ■ 大株主

| 株 主 名          | 持株数(千株) | 持株比率 (%) |
|----------------|---------|----------|
| ダイジェット持株会      | 1,688   | 5.68     |
| 株式会社 みずほ銀行     | 1,476   | 4.97     |
| ダイジェット取引先持株会   | 1,452   | 4.88     |
| 生 悦 住 望        | 1,333   | 4.48     |
| 株式会社 三菱東京UFJ銀行 | 1,244   | 4.18     |
| 明治安田生命保険相互会社   | 855     | 2.88     |
| 共栄火災海上保険株式会社   | 827     | 2.78     |
| 株式会社 不二越       | 700     | 2.35     |
| 松井証券株式会社       | 640     | 2.15     |
| 生 悦 住 歩        | 610     | 2.05     |

(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。  
2. 持株比率は、自己株式 (195,617株) を控除して算出しております。

### ■ 株式の分布状況



## ● 会社情報 (平成28年6月28日現在)

### ■ 会社の概要

|      |                                              |
|------|----------------------------------------------|
| 社名   | ダイジェット工業株式会社<br>(DIJET INDUSTRIAL CO., LTD.) |
| 設立   | 昭和25年12月                                     |
| 資本金  | 3,099,194,104円                               |
| 従業員数 | 565名 (うちパート等 129名)                           |
| 事業内容 | 超硬合金、超硬工具の製造販売                               |



### ■ 役員の状況

|         |                   |          |
|---------|-------------------|----------|
| 代表取締役会長 | いづみ 悦住            | のぞむ 望    |
| 代表取締役社長 | いづみ 悦住            | あゆむ 歩    |
| 常務取締役   | 営業・製造・技術担当<br>こ 古 | ばやし 雄 一  |
| 取締役     | 総務部長<br>いな 稲      | しん 伸 一 郎 |
| 取締役     | 生技部長<br>なか 中      | とし 敏 也   |
| 取締役     | 常勤監査等委員<br>なか 中   | しげる 茂    |
| 取締役(社外) | 監査等委員<br>た 田      | よし 義 二   |
| 取締役(社外) | 監査等委員<br>こ 小      | やす 康 秀   |

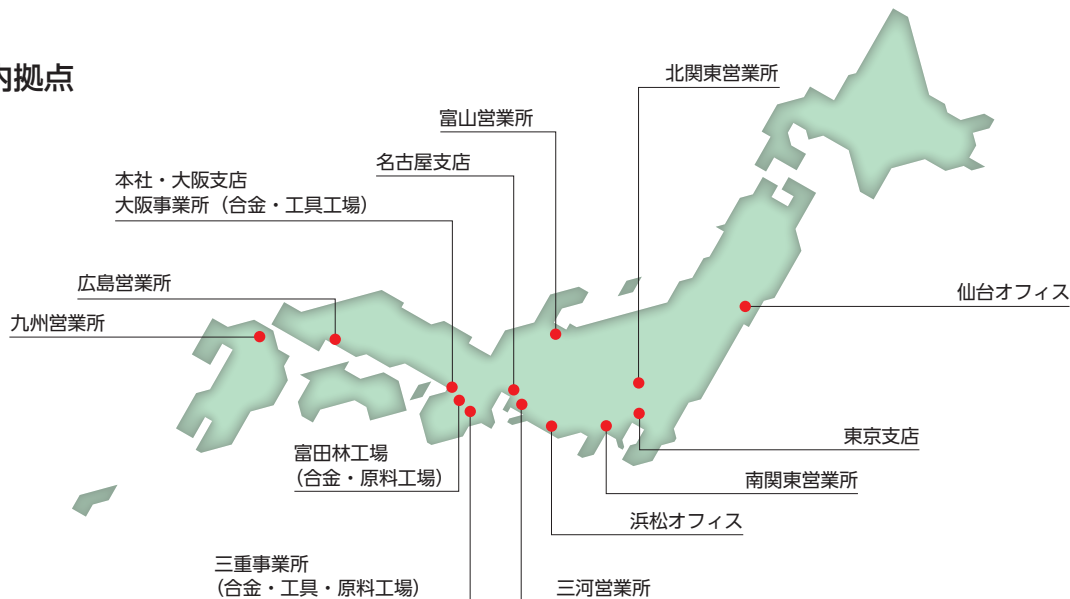
### ホームページのご案内



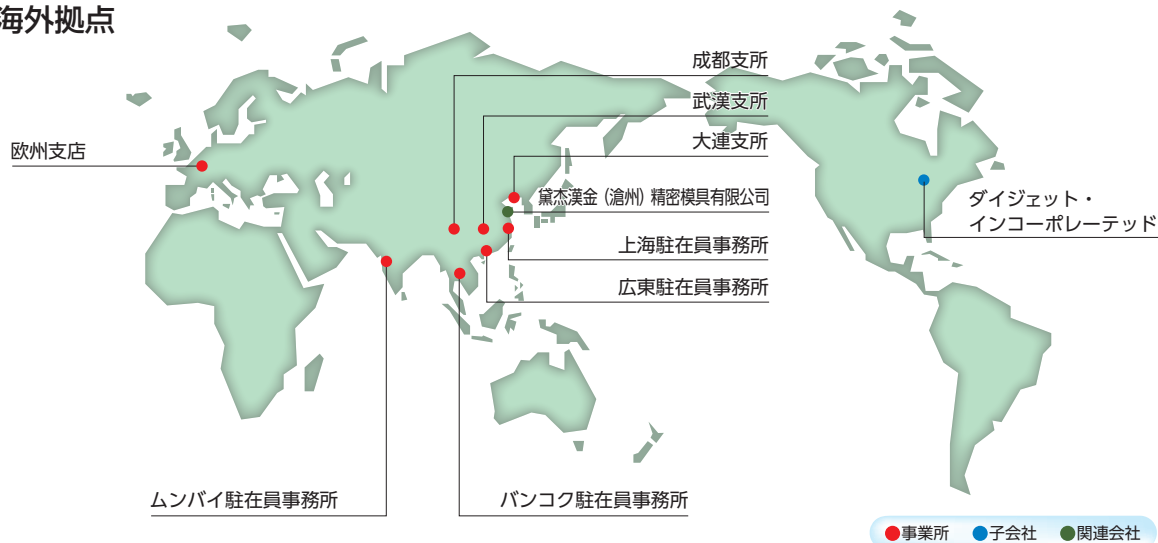
<http://www.dijet.co.jp/>

## ● 事業所および主な子会社

### ■ 国内拠点



### ■ 海外拠点



● 事業所 ● 子会社 ● 関連会社

## ■ 株主メモ

|                                         |                                                                                                                                                                                                        |
|-----------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業年度                                    | 毎年4月1日から翌年3月31日まで                                                                                                                                                                                      |
| 定時株主総会                                  | 毎年6月中                                                                                                                                                                                                  |
| 基準日                                     | 定時株主総会の議決権 3月31日<br>期末配当 3月31日<br>中間配当 9月30日<br>その他必要があるときは、あらかじめ公告する一定の日                                                                                                                              |
| 公告方法                                    | 電子公告 <a href="http://www.dijet.co.jp/">http://www.dijet.co.jp/</a><br>ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。                                                                      |
| 株主名簿管理人<br>及び特別口座の<br>口座管理機関<br>同事務取扱場所 | 東京都中央区八重洲一丁目2番1号<br>みずほ信託銀行株式会社<br><br>東京都中央区八重洲一丁目2番1号<br>みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部<br>〒168-8507<br>東京都杉並区和泉二丁目8番4号<br>みずほ信託銀行株式会社 証券代行部<br>電話番号 0120-288-324 (フリーダイヤル)                                     |
| 郵便物送付先<br>および連絡先                        | 届出住所・姓名などの変更、配当金の振込先の指定または変更、単元未満株式の買取・買増請求などにつきましては、口座開設されている証券会社（証券会社に口座開設されていない株主様は、上記の特別口座の口座管理機関（みずほ信託銀行株式会社）へお届出ください。<br>なお、未受領配当金（ゆうちょ銀行の払渡期間経過後）のお支払いにつきましては、上記の株主名簿管理人（みずほ信託銀行株式会社）までお申出ください。 |
| （株式に関する）<br>各種お手续                       |                                                                                                                                                                                                        |

（注）当社は、平成28年3月1日付で特別口座の口座管理機関を三菱UFJ信託銀行株式会社からみずほ信託銀行株式会社に変更いたしました。

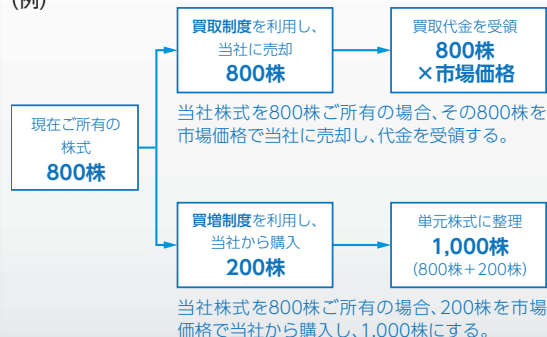
### 単元未満株式の買取・買増請求のご案内

当社の単元株式数は1,000株となっておりますので、1,000株未満の単元未満株式は市場で売買することができません。

単元未満株式をご所有の株主様は当社に対して単元未満株式を売却する（買取請求）、または単元株式となるよう不足する株数の株式を当社より購入する（買増請求）ことができます。

お申出先につきましては、左記の株主メモをご参照ください。

（例）



DIJET INDUSTRIAL CO., LTD.

〒547-0002

大阪市平野区加美東2丁目1番18号

TEL.06 (6791) 6781 (代表)



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

この報告書は、環境に配慮し、植物油インキを使用しております。